

祈りの絆

【震災募金口座】 振替 00140-9-180881
宗教法人日本バプテスト連盟総務部

東日本大震災が発生して5年経過したこの4月、今度は熊本を中心に大地震が発生しました。熊本をはじめ九州の方々が痛みと悲しみ、不安の中にあることを思い、胸がしめつけられています。もうどこで大震災が起こってもおかしくない時代になってしまいました。私たち東北にある者も今回の大地震で、5年前の震災を鮮明に思い出し、心を乱され、悲しみの中にあります。

同時に、この5年間、熊本をはじめ九州の方々のご支援とお祈りによって支えられてきた私たちは、なんとか九州を支援できないかと祈っています。

そして、今回被災された方々、現場に立っている教

東北からの

祈

会、牧師、信徒の方々の心と体の健康が守られますように心から祈っています。この理不尽な出来事の中で、神を畏れ、隣人を愛して生きるキリスト者の歩みは、本当に苦難の連続です。報われないこともあるかもしれませんが、しかし、神が必ず報いてくださる、どんなに希望がないように見える状況にあったとしても、立ち上がれないような疲れの中にあっても、主イエスの愛と憐みは涸れることはない、そして神は昼も夜も叫び求めている人たちをいつまでもほうっておかれるはずがないという希望（ルカ18:7）と、祈りが、熊本をはじめ日本全国で強く輝きますように、心から祈っています。

（現地支援委員会 金丸 真）

<原発課題班コラム> 郡山コスモス通りキリスト教会 渡邊 敦

「福島」のために何かできることはありますか？と言葉をかけてもらうことが多い。感謝と共に一つの思いが言葉になって湧く。それは「ご自分の場所の緊急避難対策を是非確認してください」ということである。故郷である福島県に住み続け、歩む一人として心からそう思う瞬間がある。事故の象徴的存在としての「フクシマ」の側面だけではなく、生活における防災への意識の必要性と、災害・事故がどのようなものであったかを「知る」ことの大切さ。

社会人大学院生として被災地の課題解決に向けて取り組み、旧警戒区域をはじめとする避難指示区域や各県の被災地を見続けている。まるで手のつけられていない箇所も未だ多くあるのが現実であり、一般通行可となった原子力発電所付近の国道は今も高線量である。

地震・津波・原発事故・・・「わたし」の今住んでいる場所は、明日そうなるかもしれない。仮設住宅で手を取る被災者は「わたし」なのかもしれない。

そんなことをいつも感じさせられる場所で、人々は笑顔で過ごしている。津波で家を失った若い友人は、大学の災害ボランティアセンターで奮闘し、海と向き合う仕事について。放射能汚染で避難指示が出た家族は、新しい環境でふるさとへの郷愁を口にしながらも、帰村に向けて明るく歩む。県外に居住を移した友は、福島の現状を伝え続けている。県外避難していた家族は、子供の健康に配慮しつつも、福島に戻り前向きな瞳をこちらに向けてくれる。5年経っても献金を献げ、支援活動に来てくださる各教会の友人たち。一人一人の、それぞれの選択、それが嬉しい。神様の真実がここにある。

それでも、仮設住宅での生活を余儀なくされている人々や、新しい住居で孤独な時間を過ごしている人々がいる。帰ることも、立ち入ることもできない場所があるのが今の真実である。関わり続ける尊さと共に、神様から与えられた「いのち」と「たいせつな人」を守る大事さを思わずにはいられない。



写真は
請戸（うけど）
漁港と
第一原発看板



3.11を忘れない

東日本大震災被災地支援 チャリティコンサート

相模中央キリスト教会 川勝高宏

昨年5月に西川口教会で開催されたものに続く、「東日本大震災被災地支援 チャリティコンサート」が相模中央キリスト教会で開催されました。これは「3.11を忘れない」との趣旨で相模中央キリスト教会災害対策委員会が主催し、日本バプテスト連盟宣教部音楽室及び東日本大震災被災地支援委員会の協力によるチャリティコンサートでした。出演者は、石橋香緒里（S）江原美歌子（S）豊原奏（T）飯塚道夫（Bs）の4人の声楽家と全曲ピアノ伴奏の十時節子の皆様でした。

事前にチラシ2,000枚を作成し、三連合諸教会へ郵送、また連盟内のいろいろな催し事の度に配布、勿論教会の近隣にも手分けしてポスティングしました。しかし当日は、1週間前のほかほか陽気から一転寒い曇り空でしたので、どれくらいの方が来場するか心配されましたが、開けてみれば、用意した170枚の当日プログラムはあっという間になくなり、急ぎょプログラムを刷り増して頂いた結果、来場者の合計は211名でした。

4人の声楽家の声量あふれる歌声と優れた選曲、連盟現地支援委員会作成のDVD上映、東日本大震災被災地支援委員の蛭川潤子さんからの証と、盛り沢山のスケジュールで予定された2時間はあっという間に終わってしまいました。教会関係者をはじめ、当日来場された近隣の方々も、3.11を覚えるよい機会となったとの感想を寄せて下さいました。

また、会場で献げられた募金は、連盟の震災募金とさせていただきます。



2015年度震災募金に感謝いたします

2016年度も引き続きお祈りをお願い申し上げます。

東日本大震災被災地支援委員会

募金種類	2015年度目標額	2015年度実績	募金件数
募金額合計	14,000千円	14,253千円	348件
内) 国内：13,279千円(344件) 国外：974千円(4件)			

<2016年2月・3月募金者（受付順、敬称略）>126件の方々から献げられました。心から感謝申し上げます。

日立、伊集院、古賀、鹿児島、洋光台、府中、百合丘、相浦光、関西黎明、品川、西南女学院大学・短大トリニティ・ベル・クワイア、福岡、西南女学院、関西学院高等部、関西学院高等部育友会、国分、枝光、調布、中野、恵泉、西南女学院、湘南台、丸亀城東町、飯塚、大村古賀島、古賀、関西地方連合女性会、緑の牧場、鹿児島、浦和、福岡地方連合女性会、久保祐子、岡田律子、鳥飼、ハミングジョー株式会社、早良、福島チャリティコンサート 朝原裕子、企救、岡山、久留米、人形劇やオタクグミ、横須賀長沢、天野五郎・文子、西原新生、天草中央、徳島、八王子めじろ台、野方、中野、東山、上尾、山形、熊本愛泉、福岡、新任牧師主事研修会「フォーラム」資料売上、神戸、西南学院高等学校、西南学院中学校、調布、福岡南、和白、別府国際、香住ケ丘、茂原、鳥飼、浦和、東大阪、野方、防府、大宮、高知伊勢崎、豊前、人吉、筑紫野二日市、大分、春日原教会女性会、市川八幡、洋光台、下関、古賀、目白ケ丘、東京北、西川口、伊丹、平尾、相浦光、久留米、北九州地方連合音楽委員会賛美集会、筑紫野二日市、伊都、調布南、清水栄光、宮崎、伊集院、飯能、門司港、赤塚、筑波、愛の園保育園・こひつじ保育園、相模中央、春日原、恵、大村古賀島、横浜戸塚、市川八幡、北大阪、恵泉、鹿児島、高崎、那珂川、豊橋、シオンの丘、神戸新生、高崎、大井、ふじみ野、福岡、那覇新都心、山形、志村、茗荷谷、青梅あけぼの、藤沢、堺、丸亀城東町、高須、